

日南海岸サイクルツーリズム協議会 協議会の検討経緯とR2年度の実施内容

- | | |
|-------------------------------|-----|
| 1. 日南海岸サイクルツーリズム協議会のこれまでの取組状況 | P.1 |
| 2. R2年度の取組内容 | P.5 |

令和2年12月23日(水)

1-1. 日南海岸サイクルツーリズム協議会 ～設立背景・目的～

■日南海岸が有する多様な地域資源

①南国宮崎を象徴する自然豊かな景観資源

- ・優れた自然景勝地(堀切峠、都井岬)、国の天然記念物(青島、御崎馬)等、自然豊かな景観資源を有する。
- ・日南海岸きらめきラインとして日本風景街道に登録。

②神話をはじめとした歴史文化が醸成した個性的な観光資源

- ・歴史文化施設(青島神社、鶴戸神宮等)、歴史的魅力の高い施設(飢肥城跡周辺等)が点在。

都井岬(御崎馬)

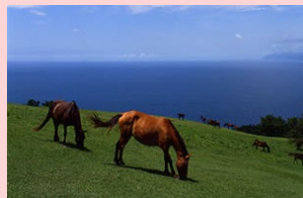


写真: 串間市観光協会

青島神社



写真: 宮崎市観光協会HP

■サイクルツーリズムの気運の高まり

①国内におけるサイクルツーリズムの普及

- ・サイクリングと観光を結び付けた新たな地域振興の取組。(しまなみ海道等)
- ・世界に誇りうるサイクリングルートについて国内外へPRを図るため、第一次ナショナルサイクルートを指定。(R1.11指定 しまなみ海道、ピワイチ、つくば霞ヶ浦りんりんロード)

②日南海岸におけるサイクリング利用拡大の兆し

- ・日南海岸でのサイクリングイベントの開催。
- ・サイクルトレイン社会実験等の利便性向上の取組。

宮崎・日南海岸ライド大会



しまなみ海道利用者数

しまなみ海道サイクリング
ロード利用者数(人)
2020年(目標) 約35万人(2019時点)
2015年 約32.5万人
2012年 約17.4万人

出典: ナショナルサイクルルート
制度検討小委員会資料

■東九州自動車道の開通

①東九州道開通による国道220号の交通量減少

- ・東九州自動車道(清武南IC～日南北郷IC)がR4年度に開通予定であり、国道220号の交通量減少が予想される。

東九州自動車道の開通(R4年度開通予定)



日南海岸サイクルツーリズムによる賑わいの創出を目的とし、『日南海岸サイクルツーリズム協議会』を設立

■目指すべき将来像

1. 自転車通行空間の整備とサポート環境の充実 (魅力あるサイクリングロードのある地域)
2. サイクリストの増加による新たな需要拡大
3. 魅力再発見による新たな観光スタイル創出 (何度も訪れたい魅力ある地域)

■日南海岸の多様な地域資源を有機的に結びつけたサイクリングルートの提供

サイクリストの多様なニーズに応えつつ、**日南海岸にある多様な地域資源**を十分に活かすためのサイクリングルートを設定

■日南海岸サイクルツーリズムを支える広域的かつ総合的な取組の推進

①日南海岸の実情に応じた自転車通行空間の整備

<内容例>

- ・ 連続的な矢羽根設置(コース、主要地までの距離等を明示)



④地域交流による憩いやくつろぎサービスの提供

<内容例>

- ・ 飲食店、温泉施設、宿泊施設等の情報提供
- ・ 道の駅、港の駅等と連携した取組み
- ・ 外国客が宿泊可能な環境の整備推進



②サイクリストのサポート環境の拡充

<内容例>

- ・ ルート案内サインの設置(右左折部、観光施設、道路勾配等)
- ・ 休憩施設の充実(サイクルスタンド、修理工具等)



⑤サイクルイベントの充実・拡大による交流の促進

<内容例>

- ・ 走行会、散走イベント、ツール・ド・南みやざき、グレートアース宮崎・日南海岸ライドなどのサイクルイベントの開催



③サイクリストの利便性を高める取組

<内容例>

- ・ サイクルマップ作成
- ・ 利用者にわかりやすい情報発信(HP等)
- ・ 公共交通との連携強化
- ・ 利用者が立ち寄りやすい宿泊施設サービス開始(一時預かり、部屋持込可、メンテナンス室等)
- ・ レンタサイクルサービス



⑥サイクルツーリズムの普及・拡大を通じた地域振興の新たな取組

<内容例>

- ・ サイクルツアーガイドの育成
- ・ 観光協会や観光施設等との連携企画
- ・ 旅行会社とのコラボ企画(日南海岸をメインとしたサイクリングパッケージツアーの企画)
- ・ 地元(関連団体・店舗・施設等)との連携

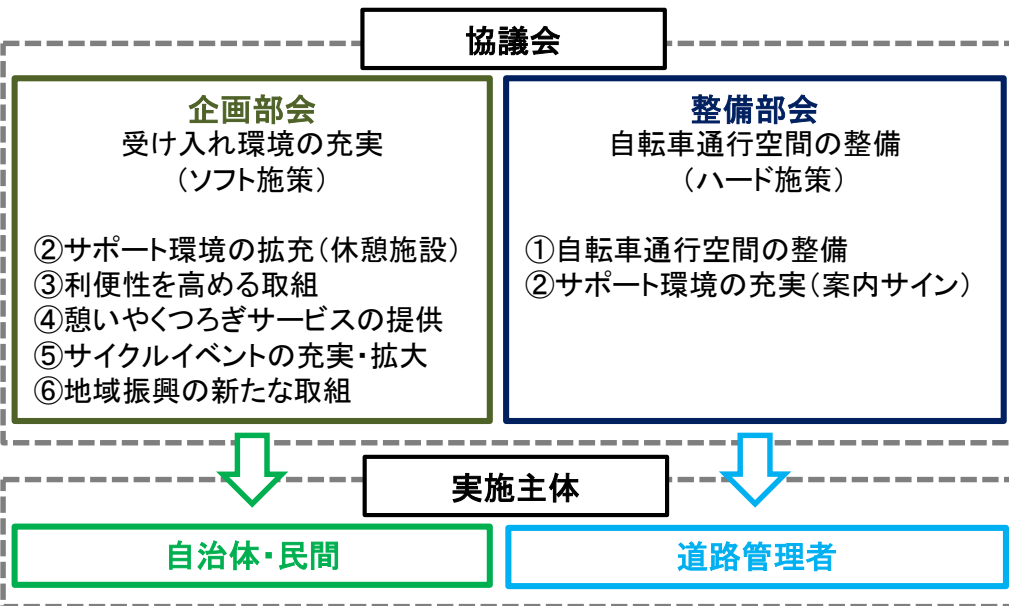


1-3. 日南海岸サイクルツーリズム協議会 ～組織構成～

日南海岸サイクルツーリズムによる賑わいの創出を目的とし、『日南海岸サイクルツーリズム協議会』を設立
(本協議会には、作業部会として企画部会、整備部会を設立)

イベント企画や施設整備の実施により、自転車愛好家や観光客の増加、自転車の利便性向上、更に地域交流による賑わいの創出を図る
 R1年度までに協議会を5回、企画部会を7回、整備部会を5回実施

日南海岸サイクルツーリズム協議会の組織構成、取り組みの実施主体



- 実施主体**
- 自治体・民間
 - 道路管理者
- 宮崎市、日南市、串間市、宮崎県
 国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所
 宮崎大学、日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会
 道の駅なんごう、道の駅フェニックス
 宮崎県サイクリング協会
 宮崎市サイクリング協会、日南市サイクリング協会
 串間市サイクリング協会
 宮崎商工会議所、日南商工会議所、串間商工会議所
 宮崎市観光協会、日南市観光協会、串間市観光協会
 宮崎県警察本部

日南海岸サイクルツーリズム協議会のこれまで

●R1年度迄に協議会を5回、企画部会を7回、整備部会を5回実施し、下記内容を議論
 企画部会：サイクリングルートの検討
 整備部会：自転車通行空間整備・案内サインの考え方
 協議会：日南海岸サイクルツーリズム構想(案)
 ▼これまでの内容について

年度	開催日	協議会内容
H27年度	H27年10月30日	第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会
	H28年1月15日	第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	H28年2月1日	第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
	H28年2月23日	第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会
H28年度	H28年11月6日	社会実験開始 (H29年3月30日まで)
	H28年11月22日	第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	H29年1月17日	第3回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	H29年2月17日	第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
	H29年3月22日	第3回日南海岸サイクルツーリズム協議会
H29年度	H29年12月22日	第4回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	H30年1月23日	第3回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
	H30年3月26日	第4回日南海岸サイクルツーリズム協議会
H30年度	H30年9月21日	第5回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	H31年1月29日	第4回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
	H31年3月20日	第6回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
R1年度	R元年7月8日	第5回日南海岸サイクルツーリズム協議会
	R2年2月25日	第7回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
R2年度	R2年11月16日	第8回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
	R2年11月25日	第5回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会

1-4. 日南海岸サイクルツーリズム協議会 ～これまでの取組と今後の予定～

- ◎H27年度の協議会設立以降、サイクリングルートの設定、サイクリングマップの作成・配布、自転車通行空間やルート案内サインの整備方針の検討、試行区間での整備・効果検証を実施。
- ◎R4年度の東九州道(清武南IC～日南北郷IC)の開通に向けて、受入れ環境の充実、サイクリングルートの整備などの各取り組みを推進。

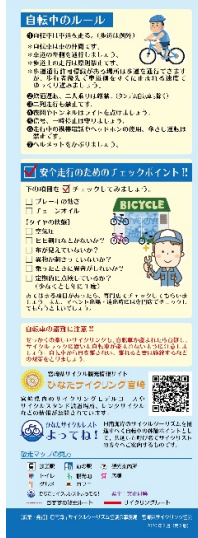
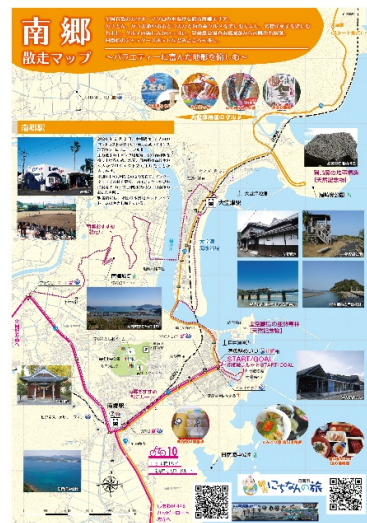
取り組み内容	検討 部会	実施 主体	H27～R2	R3～R4
日南海岸サイクリングルートの設定			・サイクリングルートの設定	
①日南海岸の実情に応じた自転車通行空間の整備 ・連続的な矢羽根設置(コース、主要地までの距離等を明示)	整備 部会	道路 管理者	・自転車通行空間の整備方針 ・試行区間の整備・効果検証	・改善策の検証 ・自転車通行空間の整備(矢羽根) ・自転車通行空間の整備(道路空間の再配分)
②サイクリストのサポート環境の拡充 ・ルート案内サインの設置(右左折部、観光施設、道路勾配等) ・休憩施設の充実(サイクルスタンド、修理工具等の充実)	整備 部会	道路 管理者	・ルート案内サインの整備方針 ・ルート案内サインの効果検証	・改善策の検証
	企画 部会	自治体 ・民間		・休憩施設の充実
③サイクリストの利便性を高める取組 ・サイクルマップ作成 ・利用者にわかりやすい情報発信(HP等) ・公共交通との連携強化 ・利用者が立ち寄りやすい宿泊施設サービス開始 ・レンタサイクルサービス	企画 部会	自治体 ・民間	・ルートの試走 ・サイクリングルートの名称検討 ・サイクルマップの作成・配布	・サイクルマップの配布・更新 ・サイクリングルート・休憩施設等の情報発信 ・公共交通との連携強化 ・宿泊施設サービスの充実 ・レンタサイクルサービス
④地域交流による憩いやくつろぎサービスの提供 ・飲食店、温泉施設、宿泊施設等の情報提供 ・道の駅、港の駅等と連携した取組み ・外国人客が宿泊可能な環境の整備推進	企画 部会	自治体 ・民間		・休憩施設・宿泊施設等の情報発信 ・道の駅等との連携強化 ・外国人客等の受入環境の充実・拡大
⑤サイクルイベントの充実・拡大による交流の促進 ・走行会、散走イベント、ツール・ド・南みやざき、グレートアース宮崎・日南海岸ライドなどのサイクルイベントの開催	企画 部会	自治体 ・民間	・サイクルイベントの充実・拡大	・サイクルイベントの充実・拡大
⑥サイクルツーリズムの普及・拡大を通じた地域振興の新たな取組 ・サイクルツアーガイドの育成 ・観光協会や観光施設等との連携企画 ・旅行会社とのコラボ企画(パックツアー企画) ・地元(関連団体・店舗・施設等)との連携	企画 部会	自治体 ・民間		・サイクルツアーガイド育成 ・連携企画の充実・拡大

東九州道(清武南IC～日南北郷IC)の開通(R4年度)

※取り組み内容の下段に、内容例を記載。

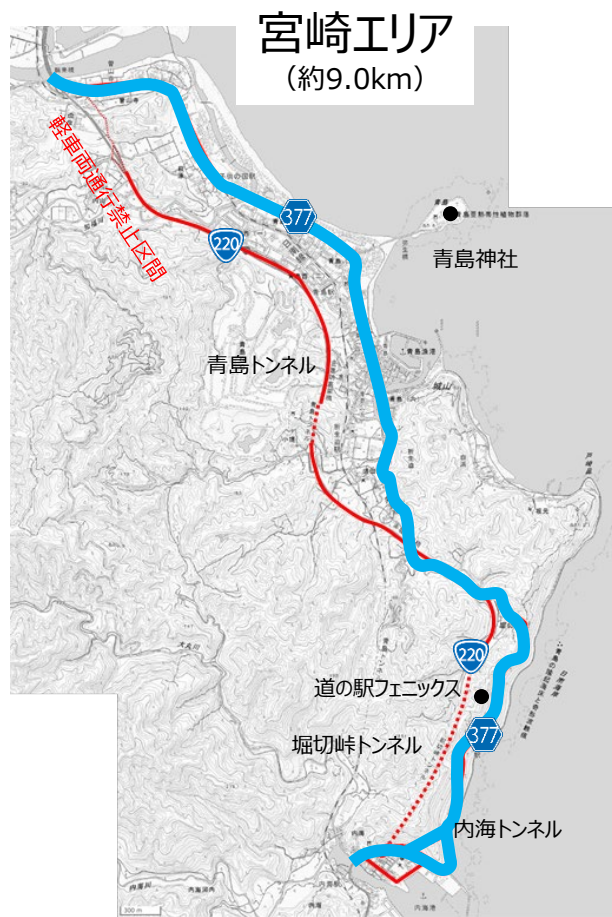
2-1. R2年度の取組内容 ～サイクリングマップ配布～

◎サイクリングマップを約2万部印刷し、令和2年6月に県内・県外の主要交通結節点・休憩施設等などに配布。



2-2. R2年度の取組内容 ～試行区間における整備の実施～

- ◎自転車通行空間と案内サインの整備方針(案)をもとに試行区間にて、R2年度に施工。
- ◎宮崎エリアは青島トンネルと堀切峠トンネルを迂回し、景観的に優れ主要観光地(青島)がある県道337号を中心に計画。
- ◎日南エリアは、国道220号の油津港から大堂津駅の間にて計画。日南隧道は市道に迂回。



▲施行区間(宮崎エリア・日南エリア)

— 矢羽根設置箇所

注)騒音苦情を考慮し、民家が連続する区間(日南エリア)は矢羽根設置区間から除外。
R2年度施工完了区間(今回施工区間)の状況を地元関係者と確認のうえ、R3年以降の施工に関して検討。

宮崎県モデルルート設定：宮崎・日南・串間ルート (日南海岸サイクリングリズム協議会)

No.	エリア	サイクリングルート	距離
①	宮崎エリア	宮崎駅等～いるか岬南下ルート	約30km
②	日南エリア1	いるか岬～油津駅ルート	約30km
③	日南エリア2	油津駅・油津港～道の駅酒谷ルート	約25km
④	日南エリア3	鉄肥駅～猪ノ重溪谷ルート	約15km
⑤	日南エリア4	油津駅・油津港～夫婦浦パークینگルルート	約20km
⑥	串間エリア1	串間駅～道の駅なんごころルート	約35km
⑦	串間エリア2	都井岬発着周遊ルート	約65km
⑧	串間エリア3	日向北方駅発着周遊ルート	約60km
⑨	串間エリア4	串間駅発着周遊ルート	約20km
⑩	日南・串間エリア	恋人ロードルート	約80km

